



全職員対象/半日研修

New

コンプライアンス研修

▶ 本研修の概要とねらい

職員一人ひとりの行動が、行政の信頼に大きな影響を及ぼすことを改めて肝に銘じるとともに、公務員としての自覚、コンプライアンスや情報セキュリティに対する意識の徹底を図り、市民の信頼の向上に取り組む。

- ・公務員倫理とハラスメントの基本について学んでいただきます。
- ・公務員倫理については問題となる事例についてお伝えし理解を深めていただきます。
- ・ハラスメントについても問題となる事例についてお伝えし理解を深めていただきます。

▶ 主なコンテンツ

- ・コンプライアンスと公務員倫理
 - ・国家公務員と公務員倫理
 - ・地方公務員と公務員倫理
 - ・個人情報保護の重要性
 - ・個人情報漏洩と処分事案(他自治体の事案を踏まえて)
 - ・法律で規制されているハラスメント
- (詳細は裏面のタイムテーブルをご参照ください)

▶ 演習/実習の内容

個人・グループワーク

●事例演習

他の自治体の事例及び処分について、事案が起こった際の影響の大きさや人事院の懲戒処分の指針を用いて理解します。

他

▶ 受講対象 (推奨)

全職員



一般社団法人 日本経営協会講師
澤村 一誠 (さわむら いっせい)

中核都市の職員として財政、企画調整、こども政策、産業振興と幅広い分野で経験を積み、人事課長として市全体の労務管理、人事制度の運用、人材育成方針の策定などを手掛ける。2021年に市役所を退職後、株式会社MIRAIIO TERRACEの代表、日本経営協会の講師として活躍する。

主に、コミュニケーション、マネジメント、メンタルヘルス、コンプライアンス研修を指導している。

本講師の他の研修

- a. コーチング
- b. メンタルヘルス
- c. コンプライアンス

コンプライアンス研修

半日研修タイムテーブル案

研修テーマ

1. はじめに

(1)研修の目的再確認 (2)アイスブレイク(講師自己紹介など)

2. コンプライアンスと公務員倫理

コンプライアンスとは何なのか？コンプライアンスがカバーする範囲はどこまでなのか？

公務員倫理とは何なのか？公務員倫理がカバーする範囲はどこまでなのかを理解していただきます。

3. 国家公務員と公務員倫理

国家公務員は公務員倫理を確保するために厳格に法律(国家公務員倫理法)で規制されていること及び規制されているポイントを理解していただきます。

4. 地方公務員と公務員倫理

地方公務員は公務員倫理を確保するために規制する法律はありませんが、国家公務員倫理法に明確に規定があることをしっかりと理解していただきます。講師からの一方的な説明ではなく問題となる事例についてワークをしていただき理解を深めていただきます。

5. 個人情報保護の重要性

個人情報保護の重要性、情報漏洩件数が増えている原因、情報が漏洩した場合の影響、情報漏洩を防ぐための対策などについて理解を深めていただきます。特に地方公務員の場合は道義的責任も問われることについても理解していただきます。

6. 個人情報漏洩と処分事案(他自治体の事案を踏まえて)

地方公務員の情報漏洩、データ持ち出しの他の自治体の事例及び処分について、ワークも取り入れながら事案が起こった際の影響の大きさや人事院の懲戒処分の指針(一般服務関係、秘密漏洩の場合の処分)について理解していただきます。

7. 法律で規制されているハラスメント

法律で規制されているセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントについてお伝えし、特にセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントについては公務員にはより厳しい規定が適用されることを理解していただきます。

8. まとめ

■本研修を受講した研修生の感想

- ◆事例を用いた演習を通して、自分事として感じ、身が引き締まった。
- ◆講師の経験より、普段の業務上での注意点など参考になった。

■本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

- ◆公務経験を活かし、コミュニケーションの理論に自身の体験を踏まえた解説は大変わかりやすいです。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319
URL <http://www.noma.or.jp>